



平成26年5月8日

各位

上場会社名 日本ハム株式会社
 代表者 代表取締役社長 竹添 昇
 (コード番号 2282)
 問合せ先責任者 広報IR部長 中島 茂
 (TEL 06-7525-3031)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年10月31日に公表した業績予想、及び平成25年5月13日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	税引前当期純利益	当社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,100,000	34,000	30,000	17,000	84.65
今回修正予想(B)	1,122,100	35,700	35,300	24,520	122.09
増減額(B-A)	22,100	1,700	5,300	7,520	
増減率(%)	2.0	5.0	17.7	44.2	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	1,022,839	28,021	28,031	16,459	79.42

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	715,000	13,500	10,900	54.28
今回修正予想(B)	731,080	16,030	13,230	65.88
増減額(B-A)	16,080	2,530	2,330	
増減率(%)	2.2	18.7	21.4	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	671,356	18,135	9,690	46.76

修正の理由

【連結】

売上高は食肉相場が堅調に推移したことなどから前回予想から増加する見込みです。営業利益につきましては、ハム・ソーセージ、加工食品は原材料高、資材・燃料高や円安の影響を受けましたが、豪州事業が回復したことなどにより前回予想を上回る見込みです。また税引前当期純利益につきましては、営業利益の増益要因に加えて、為替差益の計上、固定資産売却益などにより前回予想を上回る見込です。さらに当社株主に帰属する当期純利益につきましては、豪州事業の業績改善による税金費用の減少などがあったことから、前回予想を上回る見込みです。

【個別】

連結業績と同様に売上高は順調に推移する見込みです。利益につきましては、豪州子会社の業績改善により営業外収益に貸倒引当金戻入益5,752百万円を計上することから、経常利益及び当期純利益は前回予想を上回る見通しです。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成25年5月13日 発表)	—	—	—	26.00	26.00
今回修正予想	—	—	—	37.00	37.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成25年3月期)	—	—	—	24.00	24.00

修正の理由

当社は株主への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけており、連結業績に応じた利益配分を基本にしています。この基本方針の下、当社は連結配当性向30%を目安として(当分の間は配当金の下限を1株当たり16円としています)、安定的かつ継続的な配当成長を目指しております。平成26年3月期におきましては、当期の連結業績動向を踏まえ、当社普通株式の期末配当金予想額を従来の26円から11円増額し、1株当たり37円に修正いたします。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上